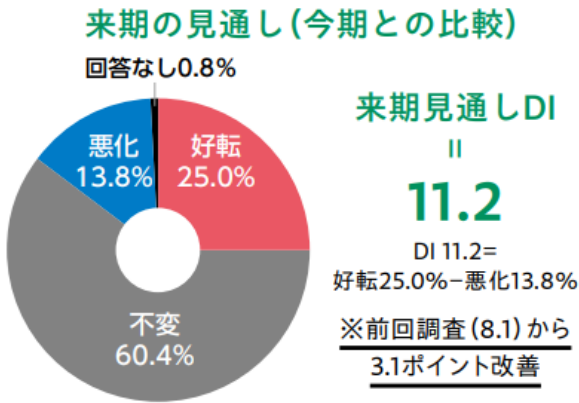
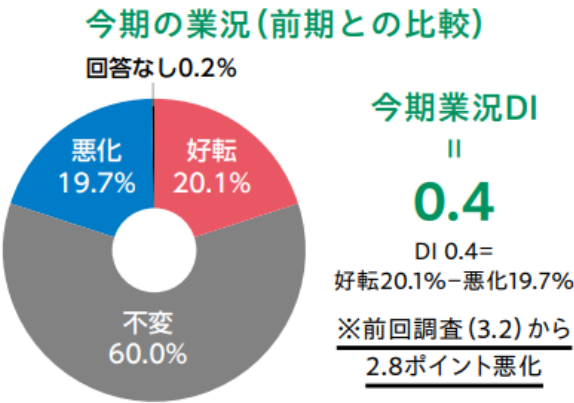


経済状況データ（DI）（2024年7月～9月期）

調査時期：2024年10月1日～18日
対象期間：2024年7月～9月期、及び
2024年10月～12月期見通し
調査対象：東京商工会議所世田谷支部
会員（3,489社）
回収状況：合計523社（回収率15.0%）

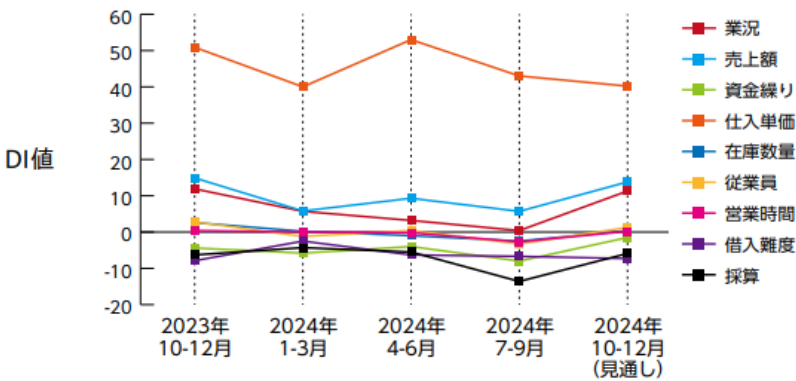
業況

今期（2024年7～9月期実績）の業況DIは、+0.4ポイントで前期から▲2.8ポイント悪化した。
来期の業況見通しDIは+11.2ポイントとなり、前回調査より+3.1ポイント好転する見通し。



主な 指標別の 傾向

今期は全指標でポイントが減少した。なかでも仕入れ単価+43.0（前期比▲10.0）、採算▲13.6（同▲8.1）の2指標は大幅に減少したが、借入難度▲6.7（同▲0.4）、在庫数量▲2.5（同▲1.5）、営業時間▲2.7（同▲2.5）は3ポイント未満の減少であった。
来期見通しでは、業況+11.3（当期比+10.9）、売上額+13.8（同+8.1）、採算▲5.9（同+7.7）、資金繰り▲1.5（同+6.5）など7指標でポイントが増加し改善が見込まれる。



業況	11.9	5.7	3.2	0.4	11.3
売上額	14.9	5.8	9.3	5.7	13.8
資金繰り	▲4.4	▲5.8	▲4.0	▲8.0	▲1.5
仕入れ単価	50.9	40.0	53.0	43.0	40.2
在庫数量	2.6	0.2	▲1.0	▲2.5	0.4
従業員	2.8	▲1.2	0.4	▲3.3	1.3
営業時間	0.4	0.0	▲0.2	▲2.7	0.2
借入難度	▲7.9	▲2.5	▲6.3	▲6.7	▲7.3
採算	▲6.3	▲4.3	▲5.5	▲13.6	▲5.9
	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月 (見通し)

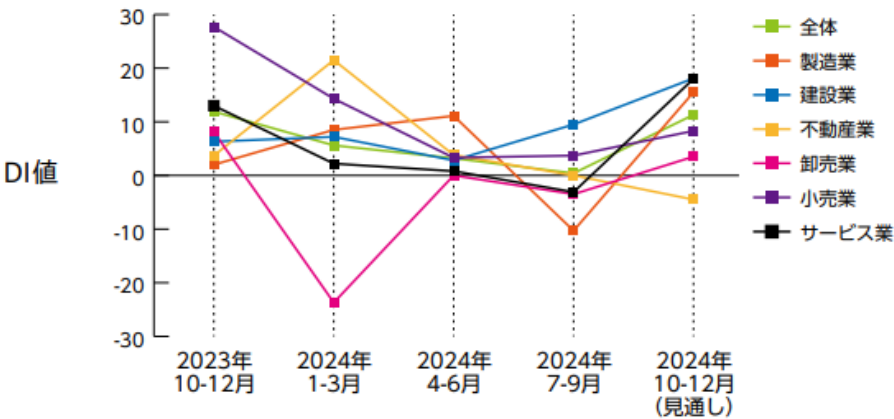
※DI（Diffusion Index）…DI(%)=「良い」「増加」等企業割合－「悪い」「減少」等企業割合。各項目について、「増加」「好転」とする企業の割合から、「減少」「悪化」した企業の割合を差し引いた値。プラスは全体として「増加」「好転」したとする割合が多く、景気が上向きの傾向を示す。マイナスは景気低迷の傾向を示す。

※概況（好転⇔悪化）、売上額（増加⇔減少）、資金繰り（好転⇔悪化）、仕入れ単価（上昇⇔低下）、在庫数量（増加⇔減少）、従業員（増加⇔減少）、営業時間（延長⇔短縮）、借入難度（容易⇔困難）、採算（好転⇔悪化）

経済状況データ（DI）（2024年7月～9月期）

業種別の
動向

今期の業種別DIは「建設業」+9.5(前期比+6.7)、「小売業」+3.7(同+0.4)の2業種でポイントが改善したが、それ以外は悪化した。大きく悪化したのは「製造業」▲10.3(同▲21.4)で20ポイント以上減少した。来期は「不動産業」▲4.5(当期比▲4.5)のみ減少、それ以外の5業種は増加する見通し。なかでも「製造業」+15.5(同+25.8)、「サービス業」+18.0(同+21.1)は20ポイント以上増加する見通し。



全 体	11.9	5.7	3.2	0.4	11.3
製 造 業	2.0	8.5	11.1	▲10.3	15.5
建 設 業	6.3	7.2	2.8	9.5	18.1
不 動 産 業	3.7	21.5	3.8	0.0	▲4.5
卸 売 業	8.1	▲23.7	0.0	▲3.5	3.5
小 売 業	27.7	14.3	3.3	3.7	8.3
サービス業	13.0	2.2	0.8	▲3.1	18.0
	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月 (見通し)

経営上の問題点

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	233	44.6%	— 1	11	生産設備の不足・老朽化	34	6.5%	↓ 9
2	人件費の増加	175	33.5%	— 2	12	大企業(大型店)進出による競争激化	24	4.6%	↑ 13
3	人件費以外の経費の増加	146	27.9%	— 3	13	事業資金の借入難	22	4.2%	↓ 11
4	従業員の確保難	126	24.1%	— 4	14	取引条件の悪化	18	3.4%	— 14
5	購買ニーズの変化への対応	76	14.5%	↑ 6	15	代金回収の悪化	15	2.9%	↑ 16
6	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	71	13.6%	↓ 5	16	在庫の過剰	13	2.5%	↓ 15
7	需要の停滞	51	9.8%	— 7	17	在庫の不足	11	2.1%	↓ 16
8	金利負担の増加	48	9.2%	↑ 12	18	購買力の他地域への流出	7	1.3%	— 18
9	新規参入者の進出や同業者の増加	40	7.6%	↓ 8	19	生産設備の過剰	3	0.6%	— 19
9	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	40	7.6%	↑ 10					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。